

バイオ甲子園2025



最優秀賞



山口県立徳山高等学校 理数科

「廃棄物廃棄物（イカの甲）を用いた生分解性プラスチックの開発～イカでイカを釣る！～」



優秀賞



沖縄県立中部農林高等学校 園芸科学科
「沖縄イチゴ未来プロジェクトV
～沖縄における持続可能なイチゴ栽培を目指して～」



優秀賞



池田学園池田中学・高等学校 生物応答班
「アマミサソリモドキの捕食行動」



審査員特別賞

熊本県立済々黌高等学校生物部

「ウニは移動前に進行方向の管足を伸ばす」



特別賞 平田機工株式会社賞



岡山県立高松農業高等学校 畜産科学科
「放置竹林の利用促進に関する研究
～採卵鶏への給与効果並びに敷料としての効果検証～」



優良賞

鳥取県立倉吉農業高等学校 環境科 Bio-Club
「地域資源を探せ～芝残渣の活用～」



優良賞

福岡県立小倉高等学校 生物部
**「ユーカリの可能性～ユーカリの日焼け止め効果
について～」**



優良賞

熊本学園大学付属高等学校 サイエンス部
「ニホンアカガエルの性分化はストレスホルモンの影響を受けるのか」



優良賞

沖縄県立球陽高等学校 生物部

「アリを環境指標として都市化が種多様性に与える影響を探る～ヤンバル自然林と市街地環境の比較～」



開会式・優良賞贈呈 選手宣誓

発表風景



情報交換会



バイオ甲子園2025総評

審査委員長総評

本日発表していただいた高校生の皆さんお疲れさまでした

どの高校の発表も審査を勝ち抜いて選抜されだけあり、いずれもレベルの高い研究がありました。その中から優劣をつけなければいけないのは大変心苦しい事ではありました。審査員全員にて議論し各賞を選びました。受賞された高校の皆さん、誠におめでとうございます。

今回受賞されなかった研究がダメだったわけではなく、研究を進めていく中で、考えたことや調べたこと、あるいは仲間と議論したことなどのプロセスが今後いろいろな面でも役立つと思います。また、そもそも私が考える研究というものは、大会の名前には甲子園と付いておりますが、高校野球のような勝負事というよりは、オリジナリティが重要なアートに近い性質があると思います。本日発表された皆さんの内容はどれもオリジナリティが高い発表であり、今後も自信をもって研究を継続していただき、そして発展していかれることを願ってやみません。本日はお疲れさまでした。

バイオ甲子園2025 審査委員長